

持続可能なインパクトを生み出そう

CREATE LASTING IMPACT

—— 2026年7月1日 第2,707回 No.2,390号 ——

会長：仁科 圭右 ・ 幹事：加藤 久美子 ・ 会員サービス委員長：吉田 秀樹
E-mail：3nagano.e-re@dia.janis.or.jp

《ロータリーソング》

- 君が代・我らの生業・信濃の国

《会 長 報 告》

- 会長の仁科でございます。

副会長の神田さん、幹事の加藤さんをはじめ、役目を務めてまいります。改めて1年間、宜しくお願い申し上げます。

本年度は、当クラブ創立60周年を迎える大切な区切りの年となりますこと、さらに、北信第二グループから田中精一ガバナー補佐を輩出、インターシティミーティングを主管すること、と重要な1年間となります。会員の皆さまには事前準備、そして各種事業にご出席いただき、記念の年を大いに盛り上げ、確りとやり遂げたいと考えます。大変な1年間ではありますが、メンバー同士の結束が高まり、当クラブが更に活性、発展する機会でもございます。どうぞ皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

早速ですが、創立60周年の準備状況につきご案内をさせて頂き、新会長としての最初のご挨拶とさせていただきます。

創立60周年記念事業実行委員会の委員長を夏目前副会長にお願いして、袖山前会長、篠原前幹事を中心に、各部会長の会員の皆さまによって、既にご準備を頂いております。

当面では、約3か月後となります、9月26日土曜日に行います、善光寺での物故会員慰霊法要、ホテル国際21での創立60周年記念式典、記念祝宴、こちらの準備の真最

中であります。

また、記念事業としては、2つを設けました。

一つ目が記念旅行です。京都旅行が既に5月22、23日に行われましたが、25名という大勢の参加者のもと、大成功に開催することができました。

二つ目は、来年5月22日、善光寺御開帳開催時期に、善光寺雅楽会様による雅楽演奏会を北野文芸座で行うべく準備を進めております。

当面の事業概要をご紹介します。

もう少しお時間を頂戴し、この場をお借りして、当クラブの歴史を振り返っておきたいと思います。

長野東ロータリークラブですが、1966年10月、長野ロータリークラブにスポンサークラブとしてお世話いただき、黒沢三郎特別代表（当時、八十二銀行副頭取、のちに頭取）のご指導のもと、長野県下18番目のクラブとして誕生いたしました。創立メンバー、いわゆるチャーターメンバーは26名でした。

初代会長は、信濃毎日新聞社社長兼信越放送社長、長野商工会議所会頭を務められました、石原俊輝氏が務められましたが、既成のロータリー観に捉われることなく「明るく開放的な体質と楽しい雰囲気を持つクラブ作りこそが肝心である」という個性的なテーマを提唱されたそうです。

その後、1972年には中野ロータリークラ

ブをスポンサークラブとして設立し、1984年には長野北ロータリークラブ、1987年に野沢温泉ロータリークラブ、1994年にみゆき野飯山ロータリークラブの設立スポンサークラブを務めました。さらに、1990年にはいわゆる孫クラブとして、長野北東ロータリークラブ、1997年に北信濃ロータリークラブが設立され、わが東クラブを含め7クラブが北信地域に存在するまでの礎づくりと発展に、貢献をされてきた、それがわがクラブの歴史だそうであります。その後、クラブの廃止を経て、現在、4クラブが北信第2グループとして活動している次第でございます。

また、これまでわがクラブから、3名のガバナーを輩出し、地区、地域に貢献されてきました。1986年に塚田和夫ガバナー、1991年に宮本忠長（ただなが）ガバナー、そして、2007年に土屋磯司ガバナーでいらっしゃいます。わがクラブは、インターアクト、また以前はローターアクトの両方を有し、米山留学生の受け入れと交換留学生の派遣、受入を積極的に行っていることは、青少年活動に熱心なクラブとして特筆されている次第でもございます。

今回の会長挨拶はここまでとさせていただきます。

ありがとうございました。

《賞 状 授 与》

- 米山記念奨学会より
米山功労者第一回 袖山 榮輝君
米山功労者第一回 神田 昭夫君
- ロータリー財団より
ポールハリスフェロー
岡田 義彦君
ポールハリスフェロー
加藤久美子君

《幹 事 報 告》

- ファミリーアニバーサリー制度について
本年度より、これまで実施しておりました「奥様のお誕生日へのお花のお届け」に代わり、新たに「ファミリーアニバーサリー」として実施する予定です。

会員の皆様に、大切なご家族（配偶者・お子様・ご両親など）の中からお届け先とお届け日をご申請いただき、その記念日にお花をお贈りいたします。本件につきましては、次週8日の理事会にてご承認をいただいた後、今月より正式に開始する予定です。

事前のご案内となりますが、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

○ 配布物について

月信・会員必携・週報カバー（希望者のみ）は来週8日に配布いたします。また、クラブ計画書については今年度デジタル配信とさせていただきます。冊子ご希望のかたは事務局までお申し出ください。

○ 会費請求のお願い

近々今年度上半期の会費納入のお願いを郵送致しますのでよろしくお願い致します。

《誕 生 祝 い》

- 今月お誕生日をお迎える皆様おめでとうございます。

ご本人：渡辺 敬六君、竹村 國彦君
篠田 諭君、鳥井 清司君
久保田一臣君、吉田 武史君
東村 智司君

《お誕生日の歌》

《在 籍 賞 表 彰》

- 7月入会の皆様おめでとうございます。
岡宮 照行君(47年)、春日 英廣君(43年)
土屋龍一郎君(18年)、篠田 諭君(15年)
千野 貴文君(15年)、倉石 智典君(13年)
袖山 榮輝君(9年)、神津富治男君(8年)
鳥井 清司君(3年)、小林 宣範君(3年)
中山 潔君(3年)、吉田 秀樹君(2年)
池田 明弘君(2年)、加藤 洋平君(1年)
中村 幸司君(1年)、津川 章久君(1年)
夏目慶太郎君(1年)

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数56名	37名	19名	66.07%
前々回 6月3日	訂正出席率		69.49%

《ニコニコボックス》

誕生日祝い：吉田 武史君、篠田 諭君
鳥井 清司君、久保田一臣君
在籍賞：夏目慶太郎君、池田 明弘君
中村 幸司君、篠田 諭君
鳥井 清司君、中山 潔君
小林 宣範君、吉田 秀樹君
岡宮 照行君、袖山 榮輝君
神津富治男君、津川 章久君
千野 貴文君、土屋龍一郎君
早退：山崎 良人君

- 2026-2027年度がスタート致しました。
どうぞ1年間宜しく願い致します。
3役（仁科、神田、加藤）より
仁科 圭右君
- 仁科会長、加藤幹事、一年間よろしくお願い
願いいたします。袖山 榮輝君
- 仁科新執行部の皆様のご活躍を心から祈
念致します。岩本 弘君
- 仁科丸の出港を祝して！横田 一尊君
- 仁科会長年度の船出をお慶び申し上げま
す。クラブ創立60周年を盛り上げていきま
しょう。千野 貴文君
- 「信越硬式野球クラブ」都市対抗野球本
大会出場が決まりました。応援よろしくお
願いします。中山 潔君
- 仁科会長、宜しくお願いします。
久保田一臣君

《委員会報告》

- 創立60周年式典部会副部会長
神津富治男君
最終例会の際もご案内したのですが、
50周年から60周年の間にお辞めになった
皆様にもご案内しましょうということに
なりました。リストアップしたので、現
在在籍の会員さんに元会員の方にご案内
していただきたく、
各支店長さん方にはお手数ですがよろ
しくお願いいたします。

- 交換留学生カウンセラー
内藤 太郎君
今年度カウンセラーを務めさせていた
だきます。
マリアさんは8/19に来日予定です。
ホストファミリー募集中ですので、是非
よろしくお願いいたします。

《本日のプログラム》

- 新年度方針
仁科会長

《7月8日のプログラム》

- クラブ年次総会

《7月8日のメニュー》

- 洋食スタイル
 - ・チキンソテーきのこクリームソース
 - ・スモークサーモンとモッツアレラチーズ
のサラダ仕立て
 - ・鶏肉と野菜のトマトスープ
 - ・ライス
 - ・マンゴープリン

＝次週例会予告＝

《7月15日のプログラム》

- 会員卓話
中村 幸司君

《7月15日のメニュー》

- 和定食
 - ・玉子そうめん 薬味 つゆ
 - ・夏野菜天ぷら
 - ・ミニうな井
 - ・葛餅と季節の果実

事業計画及び会長基本方針



2026－2027年度 会長 仁科 圭右

【1】クラブ会長の基本方針

国際ロータリー2026-2027年度のRI会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。英語では“Create Lasting Impact”と表現され、行動人としてロータリー会員が協力し、地元や海外の地域社会で有意義な変化をもたらしていくことを奨励しています。これは、2025-2026年度のメッセージである「よいことのために手を取りあおう」を実現するために会員が互いに、また地域社会との結びつきを強めてきたことを土台としています。ババロラ会長は、まず私たち一人ひとりが変わることによってクラブと地区が変わり、やがて地域社会にまで良い影響を広げていけると語っています。

私たちのクラブでも、これまで続けてきた奉仕活動をより深め、継続することで、本当に必要とされる支援になっているかを見直していきたいと思います。また、例会や研修を通じて会員自身が学び成長することも、将来のインパクトにつながります。この1年、「持続可能なインパクトを生み出そう」という言葉を心にとめながら、当クラブらしさを共に考え、育てる年としたいと思います。

本年度は我がクラブは創立60周年を迎える記念すべき年度です。さらに、北信第二グループのI.M.も担当いたします。前年度からクラブの皆様には準備に着手頂きました。本年度は前年度の土台の上に各種の周年事業を通じて、今後の我がクラブについて考え、さらなる発展につながる1年といたします。

2600地区橋上ガバナーは「COMEBACK TO SHINSHU」のスローガンのもと、「また戻りたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを進める方針を掲げられました。各クラブでは歴史、環境、経験を活かした交流、事業を通じて、地域の元気と誇りを取り戻すことで信州の魅力再確認も目指してまいります。

【2】テーマ

「設立60周年を祝い、伝統の当クラブを皆でさらに磨く第一歩を踏み出そう」

- ・当クラブの歴史を再認識し、メンバー交流をより活発にする
- ・当クラブのこれからの10年を考える

【3】重点目標

1. 60周年関連事業を成功させる、メンバー皆で祝福する機会とする
2. I.M.開催を成功させ北信第二グループに貢献する
3. 会員の増強を実現し、基盤を充実させる